

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】平成18年11月9日(2006.11.9)

【公開番号】特開2005-341248(P2005-341248A)
 【公開日】平成17年12月8日(2005.12.8)
 【年通号数】公開・登録公報2005-048
 【出願番号】特願2004-157649(P2004-157649)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 7/26 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/13 Z

【手続補正書】

【提出日】平成18年9月22日(2006.9.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ネットワークに接続されたネットワーク型映像受信装置において、
 前記ネットワークよりMPEG映像ストリームを受信する受信手段と、
 MPEG映像ストリームをバッファリングするバッファと、
 前記受信手段により受信されたMPEG映像ストリームより生成した所定の再生時間の
 単位で前記バッファへ転送するバッファ転送部と、
 前記バッファにバッファリングされたMPEG映像ストリームをデコードして映像信号
 を再生するMPEGデコーダと
 を具備したことを特徴とするネットワーク型映像受信装置。

【請求項2】

請求項1記載のネットワーク型映像受信装置において、
 前記バッファ転送部は、
 前記MPEG映像ストリームのタイムスタンプ情報から再生時間を生成する手段を具備
 したことを特徴とするネットワーク型映像受信装置。

【請求項3】

請求項1記載のネットワーク型映像受信装置において、
 前記バッファ転送部は、
 前記MPEG映像ストリームのGOP(Group of Pictures)数から再生時間を生成する
 手段を具備したことを特徴とするネットワーク型映像受信装置。

【請求項4】

請求項1記載のネットワーク型映像受信装置において、
 前記バッファ転送部は、
 前記MPEG映像ストリームの表示フレーム数から再生時間を生成する手段を具備した
 ことを特徴とするネットワーク型映像受信装置。

【請求項5】

ネットワークに接続されたネットワーク型映像送信装置において、
 送信対象の映像信号をエンコードしてMPEG映像ストリームを生成するエンコード手
 段と、
 前記エンコード手段によりエンコードされたMPEG映像ストリームを所定の再生時間

の単位で前記ネットワークへ送信する送信手段と
を具備したことを特徴とするネットワーク型映像送信装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

上記した課題を解決するために、本発明のネットワーク型映像受信装置は、ネットワークに接続されたネットワーク型映像受信装置において、前記ネットワークよりＭＰＥＧ映像ストリームを受信する受信手段と、ＭＰＥＧ映像ストリームをバッファリングするバッファと、前記受信手段により受信されたＭＰＥＧ映像ストリームより生成した所定の再生時間の単位で前記バッファへ転送するバッファ転送部と、前記バッファにバッファリングされたＭＰＥＧ映像ストリームをデコードして映像信号を再生するＭＰＥＧデコーダとを具備したことを特徴とする。

上記ネットワーク型映像受信装置において、バッファ転送部は、ＭＰＥＧ映像ストリームのタイムスタンプ情報から再生時間を生成する手段を備える。

上記ネットワーク型映像受信装置において、バッファ転送部は、ＭＰＥＧ映像ストリームのＧＯＰ(Group of Pictures)数から再生時間を生成する手段を備える。

上記ネットワーク型映像受信装置において、バッファ転送部は、ＭＰＥＧ映像ストリームの表示フレーム数から再生時間を生成する手段を備える。